

# 森林・林業・林産業の発展に向け、共に協力することを確認

## ～林活議連九州連絡会議へ要請～



要請書を手交する甲斐地本委員長



江藤会長へ要請を行う地本三役

要請行動には、甲斐地本執行委員長、古村副委員長、加藤書記長、前川執行委員が参加し、冒頭、甲斐委員長から江藤会長に要請書を手交しました。

要請内容は、①「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う木材価格・雇用安定対策の実施」②「森林・林業基本計画に基づく

施策の具体化推進のための必要な予算の確保と、間伐等の着実な実施」③「主伐後の確実な再造林、公的補助の拡充、苗木の安定供給と鳥獣害対策」④「森林環境譲与税については、税の趣旨に基づき奥地等の森林整備が図られるよう譲与基準の見直し」⑤「森林経営管理制度に

地本は11月26日、福岡県議会副議長室において、指令に基づき、森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議の江藤会長（福岡県議・飯塚市）へ「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動を実施しました。

### 協働して課題解決に尽力

# 林野労組九州

発行所  
熊本市西区京町本丁2の7  
全国林野関連労働組合九州地方本部  
（電）096-354-1150

発行者 山口隆志  
責任者 10日  
発行日 1部20円  
定価 組合員の購読料は組合費の中に含む

## 緑を育て、守る、林野労組

### 当面の活動

- 12月2日 地本執行委員会
- 11日 森林労働連産交流学習会（熊本市）
- 14日 連合九州ブロック代表者会議（長崎市）
- 18日 全国代表者会議（WEB会議）
- 19～20日 地本青年常任委員会（熊本市）
- 22日 地本団体交渉
- 23日 地本執行委員会
- 28日 旗納め

## 誰もが活躍できる職場づくりのためにできることは

### ～2020連合中央女性集会～

【林通信員・地本青女】  
10月23日に2020連合中央女性集会が行われました。新型コロナウイルスの影響で、例年、東京で開かれ全国各地から様々な業種から多くの女性が集まる本集会はZOOMウェビナーを用いたオンラインでの開催となりました。

また、同時期に開催された全国の林野労組の各地本から女性が集まり、悩みや不安を共有し、意見交換を行う貴重な場である林野労組全国女性集会は中止となりました。

集会には九州地本から田畑事務局長、林女性常任委員、金城委員（局分委）の計3名が参加し、働く女性の現状につ



化、CLTの利用拡大等の木材利用促進」⑦「山村振興法の付帯決議に基づき雇用の拡大、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善」⑧「林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善」⑨「森林整備が進まない森林については、水源林造成事業

等による公的森林整備の拡充」⑩「国有林野事業については組織の拡充と現場管理機能の強化・拡充、樹木採取権制度については国有林の管理経営に影響を生じさせない」ともに、林業事業者の育成整備に繋げるこ

と」等、10項目を要請しました。林道の整備等について11月に林

野庁に要請行動を行ったところであり、森林・林業・林産業の更なる発展に向け、林活議連としても、更に取り組んで行くので協力をお願いする。」と回答がありました。

林野労組としても林活議連に連携して従来要望を踏まえ、人材の確保、林業の機械化、林道の整備等について11月に林

## 匠の腕

『密です！』

(撮影者：後藤貴裕・熊本分会)



「匠の一言」  
コロナ禍ですが、皆さん共に頑張りましょう。



「今年輪」と言うべきか。今年の新年・流行語大賞が1日に発表された。大賞候補のうち、ほぼ半数は新型コロナウイルス関連の言葉だった。▼コロナで揺れたこの一年を象徴する大賞は「3密（三つの密）。コロナによって暮らした大きく変わり

「新しい生活様式」も提唱され、人と適切な距離をとる「ソーシャルディスタンス」が求められてきた▼外出自粛や「おうち時間」も広まり、飲み会や帰省などをネット上で行う「オンライン〇〇」もある▼「鬼」のような未知のウイルスが人々を脅かす中、主人公が鬼と闘うアニメ「鬼滅の刃（やいば）」が大ヒット。家族愛や友情を糧に成長する少年の物語が、コロナ禍で鬱々とした世の中の、気滅のやり場となった▼流行の対義語は「不易」。人がつながらなければならないとし、「3密」は流行語で終わらないかと願いたい。

# 2020秋 各分会の精力的な取り組み

## 熊本県林活議連への要請行動

2020秋段階の取り組みの一環として、11月24日、熊本県庁議事棟において熊本県林活議連池田会長及び鎌田副会長を訪問し、要請行動を実施しました。



池田会長へ要請書を手交

要請内容としては、①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う森林・林業・木材関連産業の木材価格対策、雇用安定対策等について、②「森林・林業基本計画」に掲げる施策の具体化を図る取組、③森林資源の循環利用の確立に向けた取組、④「森林環境譲与税」の税の主旨に基づき用途及び譲与基準の見直しに関する取組、⑤「森林経営管理制度」による市町村の森林整備の促進に関する取組、⑥木材

## 第3回分会レクを実施

屋久島分会

屋久島分会は、組合員の団結強化と組織態勢の確立に向けて、11月7日、第3回目となる分会レクリエーションを開催し、組合員とその家族、来賓の当局管理を含め26名の参加のもと、交流を深めました。



今回はBBQ!

## 森林・林業基本計画の推進に係る要請行動を実施

～大分分会～

11月13日、大分県庁を訪ねて、大分県・森林・林業活性化促進議員連盟の麻生会長(大分県議会議員)に面会し、要請行動を行いました。麻生会長は、由布市庄内町出身で大分市議会議員3期を経て、大分県議会議員6期当選され、第95代副議長を務め、現在第73代議長に就任されています。はじめに、大分分会執行部の5名の自己紹介を行い、その後、廣田大分分会執行委員長から林活議連の結成・協力に至るまでの経緯を説明し、要請書を手渡しました。



麻生会長と大分分会執行部

そのあと、井上大分分会書記長から「森林・林業基本計画の推進に係る要請書」10項目を読み上げ説明しました。麻生会長からは、「森林・林業は地域住民が生活するうえで重要な分野の産業である。水源の涵養や地球温暖化防止対策など森林の役割は大きい。また、国土強靱化施策の効果も見られるところもあり、現実の声を届けることが大切である。大分県も林業に力を入れており、昨年から森林環境譲与税の交付がはじまり、この財源をもとに有効な森林の整備に取り組んでいるところである。」と述べられ、今後連携した取り組みを行っていくこととしました。

## 泥まみれになり芋掘りした1日

～熊本分会～

11月1日、に菊池郡大津町矢護川において、連合菊池地協主催の「2020ファミリイも掘り大会」が開催された。



参加者全員で

掘り大会があり、当分会より濱田さん、濱口さんのご家族が参加された。

参加しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策により各単組4グループに時間分けし、検温を行い随時芋掘りを開始しました。秋晴れの中、約400名の人

数で大人も子供も一生懸命掘り進め、昨年より大きめの芋を着々と山積みし袋へ溢れるばかりに入れ、運ぶ際滑りながら

## あの人とあの人

### 「東北から九州へ」

迫脇 将季さん(局分会)

なっーなんだとオ!! 残像じゃない! 実体そのものを作り出す影身の術か! 局分会から紹介するのは10月1日付けで、芦北地区特定民有林直轄治山対策室に配属された「迫脇将季」さんです。熊本県芦北町出身で高校卒業してすぐ、東北森林管理局の青森森林管理署に採用となり、以後10年と半年を東北で過ごしてから初めての九州配置となりました。これまでの仕事は主に治山を担当し、基本的な治山工事を始め、東北大震災の影響を受けた三沢海岸の復興等に携わってきたので、これからの芦北治山災害



右がマサキで左がユウタ

害復旧の大きな戦力として、一生懸命取り組んでいます。興味は小旅行で、東北にいる間は東北各地方へ足を運び、ねぶた祭り、浄土ヶ浜、日本三大鍾乳洞の龍泉洞、蔵王キツネ村、奥入瀬渓流等の名所を堪能し、仕事と共にプライベートでも充実した日々を過ごしていたそうです。最近では東北の氣候に慣れたせいかわらぬ、仕事と共になんか休んでしまっているような追脇さんは、持ち前の明るさと真面目さで、どんな仕事を覚えています。これからますます期待がかかる追脇さんの活躍に注目です。(中村通信員・局分会)

## 連合ファミリイフェスタに参加して

～局分会～

11月21日「熊本地協・熊本地区労協」主催によるファミリイフェスタが、荒尾市のグリーンランドにおいて開催され、局分会より4家族、総勢22名参加しました。コロナ禍の関係で全体での開会式はなく各家族の写真撮影となりました。その中で林野労組のみ集合写真撮影を行い、内海局分会書記長から

「新型コロナウイルス感染症で色んな催しが中止となり、久しぶりの家族を含めた催しであり楽しんで頂きたい。」と挨拶がありました。当日は、雲一つなく好天に恵まれ、子供達もガイドマップを見ながら乗りたい遊具を目指して走り回る光景が見られ、楽しい一日となりました。(文責・局分会・松永雄治)



参加者全員で

## 大分車いすマラソン清掃ボランティア

～大分分会～

11月15日、大分市において「大分車いすマラソン2020」が、大分県庁前をスタートして大分市宮原上競技場までの公道コースで開催され99名の選手が出場しました。



清掃ボランティアを実施中

連合大分地域協議会では、第10回幹事会でコースをアプロックに分けて清掃ボランティア活動を行うことが確認されました。林野労組大分分会は、その内のCプロック(大分市王子北町周辺約1km)を担当し、早朝7時30分に廣田委員長、植

薄副委員長が参加しました。はじめに、連合大分「大分地域協議会」の浦松副議長から、Cプロックに参加した構成する組合員総勢50名へ感謝の意を表し、本大会の歴史と活動の注意事項を述べ早速清掃ボランティアを行いました。